

実務 I 目標: 基本的な援助技術を習得し、安全で安心な看護を提供できる

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
到達目標	1. 社会人としての接遇を身につけることができる 2. 部署の雰囲気慣れることができる 3. 日勤業務がわかる	1. 基本的な療養上の生活援助が理解でき、指導のもと自薦できる 2. 部署の主疾患の基本的な知識を得ることができる 3. 感染対策について理解する 4. 医療安全について理解する	1. 基本的な療養上の生活援助が一人できる 2. 医療安全を意識して行動できる 3. 機能別役割がわかる	1. 日勤メンバー業務自立 2. 夜勤業務がわかる 3. 緊急時・急変時の指示を受けて行動できる 4. 3ヶ月の振り返りができる 5. 褥瘡対策について理解する	1. 夜勤メンバー業務の実践 2. 経験を重ね技術習得を目指す	1. メンバーシップを理解する	1. 受け持ち患者の入院～退院の一連の流れを理解する 2. 6ヶ月の振り返りができる	1. 災害時行動を理解する 2. 安全な入院環境について理解する	1. 受け持ち看護師として基本的な看護展開ができる 2. ケーススタディの発表ができる	1. 看護倫理を理解して行動できる 2. ケーススタディの発表ができる	1. 1年の振り返りができる	1. 2年目に向けて自己目標の設定ができる 2. 医療安全対策マニュアルが理解できる 3. 感染予防対策マニュアルが理解できる
行動目標	1. 社会人として責任ある態度をとることができる ① 患者・家族・スタッフにあいさつができる ② 体調管理ができ、毎日出勤できる ③ 身だしなみを整えることができる 2. 職場の規律を理解し守ることができる ① 情報収集と守秘義務 ② 病院職員として自覚が持てる	1. 日勤業務を理解する ① 報・連・相が指導の元でできる ② 指導の元日勤業務が実践できる ③ スタッフや患者とのコミュニケーションがとれる ④ 指導を受けながら看護記録が正確にできる 2. 疾患と看護の学習計画立案 3. 正しい手洗いとPPEの装着ができる 4. 患者確認の手順が理解できる	1. 日勤業務を理解する ① 自部署の必要頻度の高い看護技術を習得する ② メンバー業務・役割を指導のもと理解できる ③ 病室受け持ちができる ④ 指導のもと入院を受ける ⑤ 医療廃棄物の適切な取り扱いがわかる 2. 機能別役割を理解できる 3. 指導のもと夜勤業務を実施する	1. 日勤業務を理解する ① 自部署の必要頻度の高い看護技術を実践できる ② 受け持ち患者の優先順位を考へて行動できる 2. 指導者とともに3ヶ月を振り返ることができる(チェックリスト記入) 3. インシデントレポートが指導のもと記入できる ・転倒転落防止策がわかる ・患者確認手順が実施できる 4. 指導のもと夜勤業務を実施する	1. 夜勤業務を理解する 2. 課題を明確にし主体的に学ぶことができる 3. 指導の基、緊急時指示を受けて対応できる ① 救急カートの点検ができる ② 緊急時の連絡・報告ができる	1. 各勤務帯での自己の役割を理解し、自らの仕事を行うことができる 2. 報告・相談がタイムリーにできる 3. 急変時の対応の流れを理解する 4. 正しい手洗い・PPEの実践、評価ができる	1. 指導者とともに受け持ち患者の看護が展開できる 2. 指導者とともに6ヶ月を振り返ることができる 3. 看護サマリーを記入できる 4. 褥瘡対策を考える ・無菌操作がわかる	1. 災害時の自己の役割について理解する 2. 患者の危険を予測し予防対策ができる	1. 受け持ち患者の看護展開ができる 2. ケースレポートの作成ができる 3. ケースレポートをまとめることができる	1. 看護倫理を理解できる 2. 倫理的な視点での看護の振り返りができる 3. ケースレポートをまとめることができる	1. 指導者とともに看護の振り返りができる	1. 2年目に向けて自己目標の設定ができる 2. 医療安全対策マニュアルに沿って行動できる 3. 感染予防対策マニュアルに沿って行動できる
集合研修	入職時オリエンテーション ME学習会(モニター) 技術演習	メンバーシップ I (報・連・相) ME学習会(ホップ)	3ヶ月研修 夜勤について	BLS 感染予防対策	ケーススタディガイダンス	多重課題	6ヶ月フォロー	医療安全KYT	ME学習会 (心電図モニター・DC)	看護倫理 ケーススタディ発表	一年目評価	
指導体制(チームナース)	シャドウイング 受け持ち患者1~6名	フォロー担当:メンバーNs フォローNs受け持ち患者の6~8名 夜勤体験	フォロー担当:メンバーNs フォローNsの受け持ち患者の病室 夜勤体験	フォロー担当:メンバーNs フォローNsの受け持ち患者の病室 夜勤体験・夜勤オリエンテーション	フォロー担当:リーダーNs 夜勤オリエンテーション	メンバーとして行動できる 夜勤5回まで	看護補助者とペア 夜勤5回まで	2年目課題				
(受け持ち制)	2年目以上Nsとペア			夜勤体験	夜勤体験・夜勤オリエンテーション							
基本技術(習得達成時期)												
環境	□ベッド周囲の環境整備(清潔・整理・整頓) □リネン交換 □ベッドメーカー											
食事	□食事介助 □疾患別食事の理解											
排泄	□おむつ交換 □尿管・便器の介助 □留置カテーテル挿入と管理 □導尿											
活動	□体位変換 □ストレッチャーでの安全な介助・移送											
清潔	□陰部ケア □清拭 □口腔ケア □寝衣交換 □洗髪 □入浴介助											
呼吸	□吸引の実施 □酸素吸入中の管理 □ネブライザーの実施 □体位ドレナージ											
創傷	□褥瘡ケア											
与薬	□輸液ポンプ・シリンジポンプの管理 □中心静脈内注射の管理 □輸血の準備・観察 □麻薬の作用・副作用と薬剤管理 □点滴静脈注射 □皮下注射 □疾患と経口薬・外用薬 □血糖測定 □インスリンの種類・用法と副作用											
生態機能	□体温・脈拍・呼吸・血圧・Spo2を正しく測定 □観察症状のアセスメントと報告 □24時間持続モニターの管理 □意識レベルの観察 □24時間持続モニターの管理 □採血検体の取り扱い □採尿・尿検査の方法と取り扱い											
救命救急	□救急カートの場所、物品 □応援要請											
安楽	□電法											
感染予防	□スタンダードプリコーションの実施 □適切な手洗い・消毒 □PPEの実践 □廃棄物の正しい取り扱い											
安全	□誤認防止策 □転倒転落防止策 □インシデントの報告											
部署必須の看護技術	□情報収集 □電子カルテと看護記録 □一日の行動計画立案 □行動計画の修正、優先順位と報告 □産科ケア □回復期リハ:看護・介護の10か条 災害発生時対応 避難経路・役割											
評価	責任者面接(1週目・4週目) 振り返りシート(毎日)	責任者面接(人事考課) 振り返りシート(毎日)	1週間1枚(6~7月まで)	3ヶ月目技術評価 夜勤開始評価	部署別看護評価	6ヶ月目技術評価	責任者面接(人事考課)	1年目技術評価				
	看護部:入職時面接 やる気チェック(毎月) 部署ラウンド 教育担当面接(順次)5~6月 看護部長面接(順次)7~8月 部署ラウンド 異動希望調査											